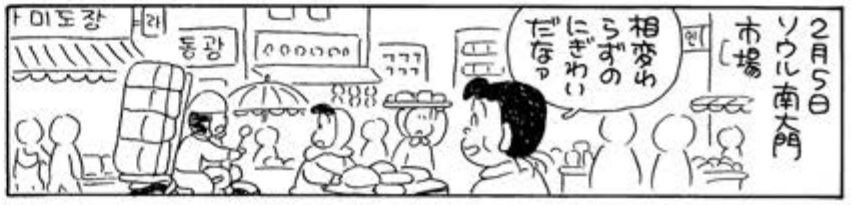
マンガ体験ルポ　北朝鮮ツアー

物無き国の赤い花

田代しんたろう



チェックインしたのは
羊角島国際ホテル
大同江(テドンガン)の中洲にあり
市内中心部から
隔離されている
市内中心部
平壌駅
こりゃ朝の散歩も無理だな
必ず無事に帰ってもらうためですから
全員のパスポートを預けさせられる

夕食のレストランへ
ともかく街は暗い!!

まっ暗な中
人も歩いている
自転車も
走っている
交通警官もいる

清流レストラン
청류식당
保温のためか
入口にはカーテン

食事は洋食とも朝鮮食とも
言えぬ、チグハグなもので…
とうもろこし(硬くてまずい)
ローストチキン
ドングリの寒天風
水炊き的?な鍋
キムチ
ナプキン
お茶
マッシュポテト
鍋の具材
パン

食事は
期待しない
方が
よさそうね
ソウルで
食べた
海鮮鍋(ペンルタン)
生きてる
タコ刺

テレビでは
白頭山での誕生祭記念行事が
放映されている

2月16日 朝
ホテルの窓より
霧に浮かぶ平壌市街

ホテルの朝食も
ピンとこない内容で
パン
マーボー豆腐
スクランブルエッグ
キムチ
おかゆ2杯

僕が予習した参考書
宮塚利雄著「北朝鮮ツアー報告」
北朝鮮ツアー報告
ソウル駅
近くの食堂の
三百円の
豆腐チゲ
の方が…

いや
よきう
ガイドの
S課長も
言ってたぞ

郷に入らば
郷に従え
この国なりの
やり方で
そのままを
見ていただ
ければ…

そうだ
主体思想
だろうと
社会主義
だろうと
肯定的に
とらえてみよう

マイクロ
バスは
万景台(マンギョンデ)
へ向かった
あれは
プモドラ
ですよ
조선국제려행사

万景台は偉大なる金日成主席の生家だ
現地女性ガイドが日本語で説明を始める
ここがお父さまお母さまのお部屋
こちらはおじさんおばさんの…
日本人が来ているので待たされる見学客
なんか落ちつかないなァ
がヤ がヤ
歪んだ不良品の瓶をわざわざ使ったとか見え見え作り物なんだけどまァ…そのくらいは…目くじら立てず…
こちらが地下鉄駅です
旗を先頭に列をつくって万景台へ向かう小学生
お～並んでるぅ
切符売り場
窓口はこっだけ
ヒョ～～これは深い
エスカレーター
ホームは地下100～120メートル有事の際はシェルターの役を果たすとのこと
千里馬線の終点復興駅
シャンデリア
お～ゴージャス!!
常備新聞
働く人民を描いた壁画
栄光駅まで一区間乗車
網棚はない
つり皮もない
御尊影はある
どの車輌にもある
開いているんだかいないんだかわからないうす暗い店し
次はマンスデ万寿台へ
韓国だと
こうだったり
こうだったするんだけど

VIP待遇で
裏口から
入場
速く!

金正日花展示場は
騒然としていた
入場制限を
しているらしく
ゴミが
捨て交ぜ
ている
珍しい車も
たくさん並んで
ベンツも…

全国各地の役所・省庁
会社・団体が出品している

しかしまァ
なんたる
画一的さ

中は金正日花(ベゴニアの巨大品種)の
赤だらけ
まっか
まっか
まっか
まっか
まっか

韓国のように
ハサミで切らない
ないので
歯でかみ
切らないと
いけない
ガイド
さんたちも
必死にかみ
切っている
カレイの
唐揚げ

平壌と
言えば
冷麺

赤い残像を
残しながら
昼食に
산관

なんか街に
「物」が
少ない
感じですね
ェ
二、三年前は
もう少し
活気があったん
ですがねェ
添乗の
Pさん
次の万寿台は
観光地じゃ
ありません
人民の
感情を
理解して
行動して
ください
釘をさす
S課長

ツアー期間の北朝鮮は
三連休
15日(土) ソッタルチョポルム
(正月初十五夜)
16日(日) 金正日総書記誕生日
17日(月) 振り替え休日
万寿台の金日成像
ジャーン
おごそかな
BGMが
流れて
いる
おお
献花して
(団)ごとに
礼をする
グループ
団体で
礼拝に
やってくる

軍人さん
も来る
娘集団
も来る
家族で
写真を
撮っ
ている

大公建立と
同じ感覚
かなァ
はい
次行き
ますよ
しかし
デカい

祭日らしく
チマチョゴリや
ネクタイ
といった
よそいき姿
ほとんど
造花

昼食後
国立平壌サーカスの
特別公演を観賞

観客は大ようこび!!
数少ないなんだろうな?

主体思想塔へ

偉大なる金日成主席の
70歳までの日数に合わせ
二万五千五百個の
花崗岩を使い…
石碑の大きさは
誕生日の四月十五日
にちなんで…

こういう数字合わせが
好きなんだな?

ビルに書かれている文字は
広告じゃない
すべてスローガン

この場合は
「一心」「団結」

七百円の
エレベーターで
展望台へ
上がれる

これは
絶景

工事が中断
十数年
野ざらし
状態の
柳京
ホテル
なんと
百五階
建て

水中バレーの
観賞へ

この後
党創立記念塔

外観だけだが
金日成主席の
遺体が安置
されている
金繍山記念館と
かけ足観光

赤い水着の
スイマー
軍団が
水面を
たたき
ながら

「金正日総書記を
決死で守る!!」の
大合唱でクライマックス

長い一日が終った

テレビで
ニュースを
見る

(焼酎)ソージュ

いつもの
あの
アナウンサー
だ

カリスマ
ナンショウ
スムニダ

全国各地で
綱引き大会が
あったり

お!
板飛びだ

今でも
やるのか?
韓国では古い遊び
として絵では
見たけど

そういえば道ばたで
ヒモでたたいて回す
コマ回しをやってたな?

韓国の
子供だったら
テレビゲーム
かな

大同江(テドンガン)に
思想塔の
赤いのろしが
ゆれる
満月が
やけに明るい

ちょっと
切なくなった

三日目は郊外へ出た高句麗の祖東明王陵の見学

のどかだなァ

古墳も日本軍によって盗掘され……

平壌へもどり三大憲章記念塔

南北首脳会談後に造られたものでモニュメントだ

6月15日の会談を記念して幅は6.15メートル

またやってる

寄贈プレートの中に

力道山に空手を教えた先生からのものです

このライトはアントニオ猪木さんが寄贈し

猪木の名前は何度も出てきたメーデースタジアムでプロレスをした年は、日本からの観光客が三千人超を記録したとか…

昼食は名門清流館で神仙炉(宮廷風鍋)

食事はだんだん食べなってくる

昼食後は凱旋門と

ドデカさにも次第にマヒしてくる

祖国解放戦争勝利記念塔

新婚さんの記念写真スポットらしい(どうしてかな…)

ショッピング・チャンスが突然やってきた(基本的に自由行動はとても少ないのだ)

フィルムを買いたいという人がいましたね

20分だけ…

ラッキー

楽園百貨店という小さめのデパートだった

1階の食料品売り場に直行した

スーパー的なレジになっている

(大きな店ぶぼ大体日本円が使えちゃう)

うむ〜

力プメンは中国製お菓子は日本製「めんつゆ」もあった

胸を張れる国産食品はコチュジャンとソジュ(焼酎)くらいか

三日目、最後は国際フィギュアスケート大会

数日間の大会の最終日なのでエキジビション的

ラストは統一の歌で大ハッピーエンド

ハナ ひとつ

ウリヨン ひとつ

(我らは)

客席はスタンディングオベーション

ホテル内の書店でショッピング
この時代劇はな？
S課長がビデオを選んでくれる
つまりな 日本人が悪役になってるのかな？
金日成主席を描いたマンガはないですか？
そんなものあるわけないでしょ
やっぱマンガの地位は低いみたい
四日目 高速道路を一路 板門店へ
歩いてる
自転車もどういうわけか左側の退避車線を走ってる
乾いた農地
Yさんと S課長が交替でレクチャーを始める
わが国のエネルギー事情と教育について
米に替わる主食としてジャガイモを…
では南北分断の歴史について…
我々は日本に対して韓国ほどの悪感情は持っていませんよ 敵はアメリカです
ポッポッと村があり ポッポッと人が歩いてる
兵のそっぺんまで畑化されている
ともかく歩くしかないんだね
案内役の軍人さんはとても落ちついて温厚そうなおじさんだった
停戦談判会議室
国連旗は当時のままの物だそうだ
ここで調印式が
資料写真室と見学し
すごい殺し合いがあったんだ
これが境界線停戦会議場
昔からある展望やぐら
新しい韓国側の休憩所
韓国兵
芝地
これが軍事境界線
入りましょう
朝鮮人民軍
芝地がある
ごもっ
韓国兵がガラス越しにのぞいてる（お約束かな？）
ごもっ
ごもっ
Pさんを通訳にして案内の軍人さんが話しかけてきた
印象はいかがですか？
実は25年前に南から来たことがあり…
で始め
南北分断は日本の植民地支配にも原因があるわけで 統一に協力したいと思っている
で結んだ
社会辞令は聞こえたかもしれないが…マジだ!!

実はこの後、平壌の中学を訪問したのだが、江頭なんとかという日本人タレントの闖入があり、日本のテレビメディアの浅薄な発想による取材と思われるので書かない。

最終日だ

人民大学習堂を見学し空港へ向かいます

案内係は聡明そうな女性だった

ようこそいらっしゃいました

アミョンシムニカ

閲覧室

貸し出しカウンター

係員が書名を打ち込むと

この箱に入って本が出てくる

ヒューッ

みんなでのぞき込むが見えない

奥どうなってるんだ？

人がいるんでしょ

問答室という部屋があったり

응답실

リクエストすると専門の学者から特別レクチャーを受けられるそうです

売店もあり画集を二冊買った

人民ウォンとユーロと日本円が入り混じっている会計所をのぞくと

小銭入れ

日本のお菓子の箱

僕も学生時代ここで勉強しましたよデートしながら

ガイドのYさん

最後にYさんは歌を披露してくれた

イムジン河

水きよく～

若い人は知らないようだった

とうとうと流る～

取材用の写真ばかり撮っていたがDさんに記念写真のシャッターを押してもらった

高麗航空の機内食はハンバーガーだった

アメリカ大きらいのはずだけど

外国人旅行者への心づくしなのかな

Yさんも5課長も苦しいこの国でがんばり続けるんだね

アメリカに屈せず歯をくいしばって生きている人々がちょっといとおしく思えた